

## 県外派遣報告書

審判員名	矢島 優紀	所属	U-12
大会名	第38回関東ブロックスポーツ少年団競技別交流大会ミニバスケットボールの部		
期間	令和元年7月26日～7月28日		
会場	ALSOKぐんま総合スポーツセンター ぐんまアリーナ		
スケジュール			
期 日	内 容	場 所	
7月26日(金)	審判会議	ALSOKぐんま総合スポーツセンター ぐんまアリーナ	
7月27日(土)	大会1日目	ALSOKぐんま総合スポーツセンター ぐんまアリーナ	
7月28日(日)	大会2日目	ALSOKぐんま総合スポーツセンター ぐんまアリーナ	
会議 講義 内容			
<p>講師 群馬県バスケットボール協会副審判長 星野由貴 氏 群馬県バスケットボール協会審判委員 穂川苑子 氏</p> <p>講義 群馬県バスケットボール協会審判委員 穂川苑子 氏 テーマ「正しい判定のために～審判員にとって必要なものとは～」 正しい判定をするために審判員にとって、判定のベースとなる基本的なことについて講義をいただいた。”なぜ、メカニクスが大事なのか”マニュアルの条文を一番初めに審判員全員で確認をした。シリンダーの概念やガイドライン、インテグリティへの対応など、必ず吹く・吹かない、どちらかの判定をする。それには原因・理由・根拠を持って取り上げることが大切であるとお話をいただき、判定をしていく上で重要な基本を再確認することができた。また、「スローインにこだわりをもつ」という話がとても印象に残った。一つのスローインには確認すべきこと、チームの意図、選手の思いなど、様々なことを感じ、考えなくてはいけないと話され、今まで以上に一つのスローインに注意をしていきたいと思った。</p>			
実技			
担当試合	期 日	7月27日(土)	(男子) 女子
	対戦カード	明治MB(栃木県) VS 桐生桜木(群馬県)	(主審) 副審
	相手審判	林 祥吾 氏 (山梨県)	
ミーティング内容		主任 相木 康岳 氏 (千葉県)	
<p>一つの判定に対して、指導者が過度に反応してしまったことがあった。それに対して警告をする際に、感情的にならず、毅然とした態度で対応した方がよい。取り上げた判定をTOIにレポートする際に、動きながらになっていた。子供にわかりやすく伝えるためにも、立ち止まり、声を使ってレポートをするように心がけてほしい。</p>			

実技				
担当試合	期 日	7月27日(土)	男子	女子
	対戦カード	新田(群馬県)	VS	田富女子(山梨県)
	相手審判	山田 聡 氏 (神奈川県)		
ミーティング内容		主任 穂川 苑子 氏 (本部)		
<p>試合の内容もお互いに激しく点を取りに行くことや、ボールを奪い合うなどはなかった。判定については、取り上げたものに間違いはなかったと思う。その中で、トレールの位置が高く、リバウンドへの意識が薄い。下りて、飛び込みやダウンボールへの対応に備えた動きができるようにしてほしい。また、リードで次への対応に遅れない見方の工夫をした方がよい。講義でも話した「スローイン」について、前からDFが当たっているときに、次の備えで自分がどこからプレーを見るのがよいのか、考えながらスローインをするようにした方がよい。</p>				
実技				
担当試合	期 日	7月28日(日)	男子	女子
	対戦カード	下妻ジャスティス(茨城県)	VS	柿生レッズ(神奈川県)
	相手審判	藤原 美樹 氏 (千葉県)		
ミーティング内容		主任 飯島 裕紀 氏 (茨城県)		
<p>体格差のあるチーム同士の試合で、下妻のビックマンへの守り方がこの試合のカギだった。試合の入りから、コンタクトを求めてビックマンについていた柿生のDFに初めから笛を入れなくてはいけなかった。体格差があるが故に、下妻のビックマンがシュートにいった時のファールが重なっていくことが、各クォーター多くなってしまったが、本当に取り上げなければいけないものだったか、RSBQを考えて取り上げなくてはいけないケースもあった。両ベンチの意図することを最後まで感じる事ができなかった。コーチが選手に指示をしている時も、次は何をしてくるのかアンテナを高く一試合持ち続けることが今後の課題である。</p>				
全体の感想				
<p>初めての県外派遣、スポ少関東大会に参加させていただき、一人の審判員として多くのことを学ぶことのできた三日間でした。穂川苑子氏のレクチャーで、正しい判定のために審判員に必要なことについて、ご講義いただいたことを今後の審判活動をする上で、常に意識して取り組んでいきたいと強く思いました。</p> <p>今回の開催地であった群馬県の皆様には、細部にわたる心温まるご配慮をいただき、三日間大変お世話になりました。この場をお借りして感謝申し上げます。そして、このような貴重な機会を与えてくださった小泉委員長をはじめとする埼玉県U12審判委員会の皆様と、日頃より活動をご指導して下さる皆様に深く感謝申し上げます。今回の経験を生かし、今後も精進して参りますので、ご指導・ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。</p>				